

⑩日本国特許庁  
公開特許公報

⑪特許出願公開  
昭53-74795

⑫Int. Cl.<sup>3</sup>  
A 61 F 13/20

識別記号

⑬日本分類  
94 F 52.

庁内整理番号  
6537-35

⑭公開 昭和53年(1978)7月3日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮タンポンアプリケーション

ツトノー・レーン・ハートシ  
ル30

⑯特 願 昭52-148937

⑰発 明 者 リチャード・マロウズ

⑱出 願 昭52(1977)12月13日

イギリス国ノーザンブトンシャ  
ー・ラツシユデン・ウエストフ  
イールド・プレース18

優先権主張 ⑲1976年12月14日 ⑳イギリス国  
(GB)㉑52093/76

㉒発 明 者 ブライアン・ジェームス・ブル  
ースター

㉓出 願 人 ユニリーバー・ナームローゼ・  
ベンノートシャープ

イギリス国ベッドフォード・オ  
ークレイ・レイネスドライブ18

オランダ国ロッテルダム・バー  
ジミースターズ・ヤコブブレ  
ン1

同

ジョン・アルバン・ハワード

イギリス国ベッドフォード・ブ

㉔代 理 人 弁理士 浅村皓 外3名

明 細 書

1. 発明の名称

タンポンアプリケーション

2. 特許請求の範囲

- (1) 前記無芯部分と、前記無芯部分内に挿入して組合せられ、前記無芯部分とを貫通するタンポンアプリケーションにおいて、前記無芯部分が、両端するリップ間に前記部分を固定すると共に両端の間に前記部分の長手方向の出入を可能にする如く前記無芯部分に対して長手方向内側アンケルを形成する長手方向リップを有することを特徴とするアプリケーション。
- (2) 前記無芯部分が、両端領域のみにリップを有し、前記無芯部分内側部分が、前記リップの内方の領域に臨みその内端で外方に傾斜し、これにより、前記二つの無芯部分が、一体に使用されるのを促進されることを特徴とする特許請求の範囲外ノ変形例のアプリケーション。
- (3) 前記無芯部分が、水分吸収性基材材料から作られ、前記リップがしわ付けされていることを特徴とする特許請求の範囲外ノ変形例又は前記二つの無芯部分のアプリケーション。

アプリケーション。

(4) 前記無芯部分が、水分吸収性基材材料から作られ、前記リップが形成されていることを特徴とする特許請求の範囲外ノ変形例又は前記二つの無芯部分のアプリケーション。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、好ましくは水分吸収性材料、例えば月経で用いられる月経用タンポンを適用するタンポン装置(アプリケーション)に関する。

タンポンアプリケーションは周知であり、これでは、外側無芯部分と、内側無芯部分とが折り畳み形成して一体に入れ子式になっている。タンポンは、外側無芯部分内に収容され、内側無芯部分は、タンポンを挿入するアプンチとして作用する。

従来の構造では、二つの無芯部分の折り畳み関係は、二つの部分の正確な関係を維持するに充分に満足できない無芯部分の折り畳み変形によるか、または入れ子式の内方の位置では周知方向の抽出し難いアプリケーションの内面への既述の通過に対するシーンを形成するため必要なのに前記を生じ

と先に製造するものが困難な円周方向へ伸びる構造し面により保持されていた。

主成分は、 $\text{H}_2\text{SiO}_3$ 、水分熱可料から作られ、  
管状の無部分と、板状の部分に別れて入  
りてなる管状の無部分を備え、前記の無部分以  
外に於ける管状の無部分を閉鎖すると共に其の  
中に液体の長手方向の流入を可能にする如く前記  
の無部分に対して長手方向の開口部を有する形  
成する内方または外方へ向いたる開口部を有す  
るマンボンプアプリーチを提供する。

この装置では、2つの部分には、それぞれ密に入れ子式になり、即ち、2つの部分のかなりな面積にわたる強力な密着面が形成され、これは、入れ子式部分間の空気・フタを防止して真鍮の間に2つの部分間に液体が流れるのを防ぎ得る。従つて、アプリケーションが入れ子式に用ゐる位置にある状態で、本装置は、真鍮の間に、液体は、真鍮を助長する如くアプリケーションの底での部分に急速に到達し得る。

生九，幾乎萬物皆以，便不在他選擇重形成了

465753-7(755 2)

と共々、物品に對する補償を与える和点を有してゐる。

丹ましくは、前記外周部分が、外部領域Kのナ  
リヲを有し、前記中央内周部分が、前記リブの内  
方の領域Kに入りその内面であつたべん形Kなり、  
これにより、前記二つの中央部分が、一様に使用  
されるを促進される。

この塩基に対して最も便利な材料は、前述の如く（厚紙であるが、ポリビニールアルコール、硬化ポリエレンの様な水分散性樹脂材料を使用してもよい。その種の樹脂材料は、入力手段の調整要求の分散性が要求条件でないと必ずしも使用不可である。

是れ乃ち向リブを有する部分は、例へば、鋼板が  
 使用されるときに於て竹材またはスエーデン材  
 によるか、または鋼板材料が使用されるときに  
 鋼材または炭素鋼によつて容易に製造される。

本図の更詳細に關し附屬圖面を添附して下記に説明する。

人ノ、馬ノ、馬ノ脚は、入れ子式集合の四角形

分としてアプリケーションを形成する単位は、無部分の封  
装部を夫々示す。第4図は、入れ子式に並びた位  
置で内包部分1に包囲を施す取付部、第2図に於  
て第3図に示す部を夫々無部分1を示す。ナンボ  
ンと、引を夫々とは、このアプリケーションの3つの  
部分に内包している。外無部分1は、長手方向リ  
ブを有している（リブは、第1図では3つあり、  
第2図では4つあり、第3図ではリブはその位置  
で未定が有るに於て）。第5図を参照すると、  
これ等の長手方向リブは、内包部分2の壁と共に  
長手方向間隔を形成する。これ等の各間隔は、  
本装置に於ては製品使用便否へ影響する間隔にア  
プリケーションの内包に向い入れ子式の部分間を既述が  
既述のものを有し、これにより、組立ての際に材料  
が速かに破断する如く急速に開れるのを可能にする。  
是れ、これ等の部分内に空気が捕獲されない  
ことは、その押力を低減し、本装置に於けるフ  
ラッシュを低減する。外無部分1は、ひた付けまたは  
スエーミングまたは射出成形の操作により長手  
方向リブを有し強固な部を形成された部を有し

ている。従つて、 $\beta$ または $\beta$ の半径方向に位置するジョーは、部分1の内側へ一時のK導入された過当な形状の内側部分なしとしてKに対して長手方向に $\beta$ 間の領域を押圧する如く内方へ移動する。

形成される細胞は、幾乎万回の分割をいしマインネームを有すると共に、適宜に細胞群を形成する。更に、これ等の細胞群の内部には、かならず領域にわたり内層部分の細胞との密な接触組合が形成される。これは、大抵の公知のアブリケームよりも広い接触面積を形成し、その結果、一層細胞の結合が得られる。また、幾乎万回リブがあることは、正確な弾力的で密な結合を保障するのに役立つが、それは、任意の個かならず密な結合が幾乎万回リブによる見えて除去されるからである。

第4図に示れると、内筒部分2の内径は、内筒部分が使用する前に外筒部分1から抜けないことを保証するため、外筒部分内で外方へべんねの口を形成していることが認められる。また、外筒部分1の反対内筒部分は、ステンレスが確実に保

并されるのを防止すると共に挿入部を改善するため、僅かに内方へ傾斜している（或い強度を有する炭素のメッキに對比される）。

附加的の利便は、内方部分1へ位置に挿入し得る。これは、この部分1の内方を僅かにベール形にするか、または内方へ凹陥部を形成することである。これは、メッキと挿入部との間に生じる微細な隙間を閉鎖の恐れを防止する。

第1図乃至第7図は、第1図に示されている。この場合Kは、外方部分1は、第1図に示すものと本質的に同一であるが僅かに傾い強度の内方へのしわ付けを有するしわ付けされた強度を有し、傾斜部の外方部分の凹陥部、外方へベール形になっている。従つて、把持部は、一層凹んだ形状を有し、即ち、指の形状に一致して適合する。この凹陥部の外方部分、内方部分2が凹陥部を形成する如く同様に僅かにしわ付けされ（第7図参照）入り子状に並びた位置で組立てを一層確実に位置決めすることになり、1つの部分の組立て後にしわ付けを另一操作で実施し得るメッキメッキ

リケーノの凹陥部を作る上でも役立つことである。これに代り、閉鎖の恐れは、この手段Kとして低減される。

上述の裏面外では、リブは、外方部分1の外方へ延びている。本発明の異なる形状では、リブは内方へ延び、この場合Kは、これ等のリブは、内方部分の支持面を形成し、新リブ間の傾斜は、部材の強度を低減する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、2つの長手方向リブを有する外方部分1の斜視図、第2図は、2つの長手方向リブを有する外方部分1の斜視図、第3図は、2つの長手方向リブと別の凹陥部とを有する外方部分1の斜視図、第4図は、完全に組立てられたメッキとアプリーノとの断面図、第5図は、同上のV-V線に沿う拡大断面図、第6図は、他の裏面外に組立てられたアプリーノの部分断面図、第7図は、同上のV-V線に沿う断面図を示す。

1、2 --- 外方、内方部分、

3 --- 長手方向リブ、

1 --- 長手方向リブ、  
2 --- 把持部。

代理人 池 村 昭  
外 名

